

財政健全化を確保しつつ、大型建設事業を推進

～南小学校改築、赤砂崎公園整備事業の着実な進展と
高齢者や子育て世代などに配慮した事業の拡充～

一般会計予算は昨年に引き続き八十億円を超える

●二十五年年度予算の概要についてお知らせいたします。

新政権が誕生し、「政策の基本哲学を『縮小均衡の分配政策』から『成長と富の創出の好循環』へと転換を図り、長引く円高・デフレ不況からの脱却とイノベーションや新しい事業の創出により、雇用と所得が拡大していく強い経済を目指す。」とされたところですが、町では、依然として景気低迷が続く厳しい社会経済情勢であると認識しています。

このような中、二十五年年度は、継続実施となる南小学校の改築（校舎棟第二期工事）、赤砂崎公園の施設整備、町道湖岸通り線などの道路改修に加え、新たに庁舎の耐震改修、清掃センターの焼却炉改修などに着手するため、昨年度に引き続き大型の予算となりました。

住民要望の多い施設修繕・施設整備、道路維持補修などのハード事業と、高齢者や子育て世代などに配慮したソフト事業を拡充しながら、健康や環境面にも着目し、町民の皆さまに寄り添った温かみのある事業を更に推進します。

皆さまからお預かりした貴重な税金を有効に活用し、夢と希望に満ちた活力あるまちづくりを進めることで地域力を高め、「元気」と「魅力」を発信してまいります。

予算の主な施策内容

- ① 安心・安全のまちづくり
赤砂崎公園の整備、南小学校改築、地域防災計画の見直しなど
- ② 地域活性化まちづくり事業の推進
商工業・観光振興の推進、ガーデンプロジェクト、公共サイン設置など
- ③ 地域で守り育てる子ども支援策の推進
未就学保育体制の拡充、学童クラブ運営の充実、学校教育環境の整備など
- ④ 環境、福祉施策の充実
疾病予防・健康づくりの推進、障害者・高齢者への福祉施策の充実、町内循環バスの複数台運行、福祉タクシー等助成の拡充、焼却施設補修、道路維持補修・新設改良など
- ⑤ 行政改革の推進
税務資料保存整備、事業別予算書の作成、下水道企業会計の移行準備など

会計別予算額

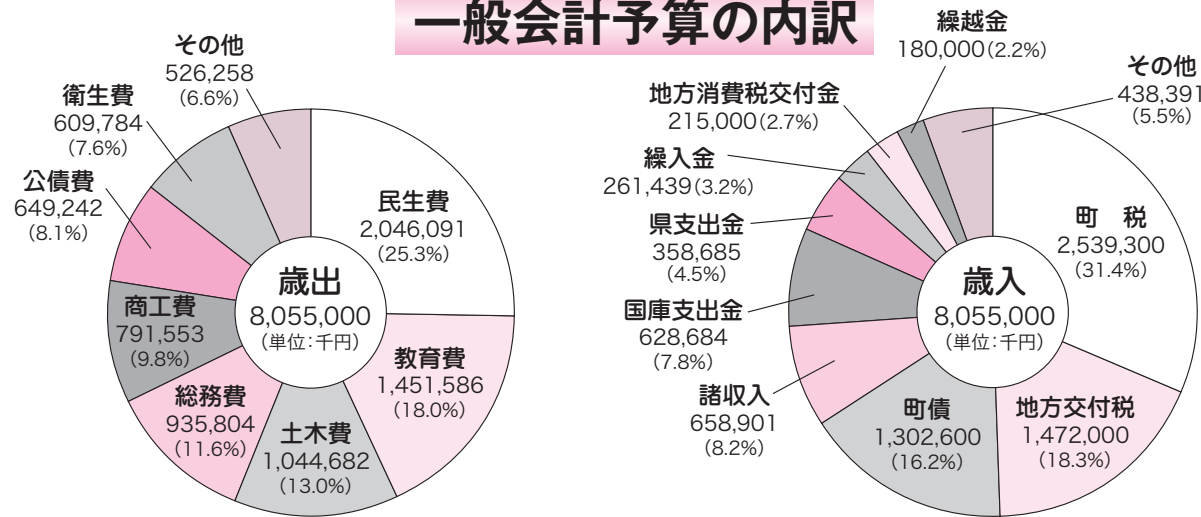
会計名	予算額	前年度比
一般会計	80億5,500万円	△1.8%
国民健康保険特別会計	22億9,260万円	5.1%
下水道事業特別会計	7億6,650万円	2.1%
駐車場事業特別会計	820万円	28.1%
後期高齢者医療特別会計	2億9,040万円	1.1%
交通災害共済事業特別会計	1,170万円	0.0%
温泉事業特別会計	3億4,970万円	4.3%
特別養護老人ホーム事業特別会計	2億7,610万円	△7.5%
東山田財産区会計	90万円	0.0%
水道事業会計		
収益的支出	2億7,030万円	△1.5%
資本的支出	2億9,130万円	119.2%

【会計区分】

「一般会計」は、町が行う事業の大部分を占める会計で、支出には皆さまから納めていただく町税や地方交付税などを主な財源としています。これに対し、「特別会計」は、特定の事業を行うために設けられた会計で、支出を保険料や使用料などの収入（財源）で賄っています。

また、事業によって得る収入で支出を賄う独立採算型の会計を「公営企業会計」と呼び、当町では水道事業会計がこれにあたります。

一般会計予算の内訳



●主な歳出のワンポイント解説

- 民生費** 高齢者、障害者、保育園などに使われるお金
- 教育費** 学校、社会教育施設の整備や運営に使われるお金
- 土木費** 道路、橋、公園などの整備や、下水道事業特別会計への繰り出しに使われるお金
- 総務費** 行政改革、協働推進、選挙、税金の徴収など、行政運営に使われるお金
- 商工費** 町内の商工業者などへの支援、観光施策に使われるお金
- 公債費** 町債（借入金）の返済に充てられるお金
- 衛生費** ごみ処理、環境施策、母子保健、生活習慣病検診などに使われるお金

●主な歳入のワンポイント解説

- 町税** 町民税（個人・法人）、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など、町が集めることのできる税金
- 地方交付税** 地方自治体の財政力に応じて国から配分されるお金で、全国格差なく必要最低限の生活ができるようにするのが目的
- 町債** 大きな支出が必要なきや、将来にわたり町民にも経費負担がふさわしい場合に借りることができる町の借入金
- 国・県支出金** 町が行う事業に対し、国や県が支出する補助金などで、使いみちがあらかじめ決められているお金
- 地方消費税交付金** 全国の消費者が納めている消費税5%のうち約0.5%分を、町の国勢調査人口や従業員数の割合により国から県を通じて交付されるお金

未来に向けて元気と魅力を発信

下諏訪町長 青木 悟

二十五年年度の一般会計予算は、八十億五千五百万円と昨年に続き八十億円を超える大型の予算となりました。本年度は私の三期目のスタートとなる年でもあり、町長選挙でお約束をした二十四の具体的な施策を着実に実行していく決意を持って編成作業に取り組んでまいりました。「下諏訪力の創造」

を基本理念に、誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり、地域の資源や人の力を活かし、住んでいることに誇りが持てるまちづくり、計画的で効率的な行政運営のものと健全財政の構築の三項目を指針として、長引く景気の低迷や先行き不透明な社会情勢の中にあっても住民の皆様の要望に応え、住民に寄り添った暖かみのある予算とすることができたと自負しております。

大型事業としましては、南小学校の改築事業、赤砂崎防災公園化事業、湖岸通り改修事業などに加え、本年度から三年計画で役場庁舎の耐震改修事業にも着手します。安心安全のまちづくりのため、集中豪雨災害に備えての雨水排水

対策事業、地域防災力強化のため防災備品購入補助金の増額や防災モニター制度も開始いたします。高齢化が進むなか買物弱者や交通弱者対策として、あざみ号にワゴン車を加え利便性の向上を図ります。好評の福祉タクシー事業も対象者の拡充を図ります。かねてより老人福祉センターから遠い地域の皆様から要望の強かった温泉利用施設も、開設に向けて準備をしております。少子化対策としての子育て支援も未就学保育体制の充実など安心して生育てられる環境整備に努めてまいります。

産業の活性化は喫緊の課題であり、ものづくり支援センターを中心としての工業支援、観光と商業の振興を風情あるまちづくりと共に進めてまいります。

夢と希望にあふれる未来に向けて、地域の持つ力を結集しこの町から元気と魅力を発信し、更に大きく飛躍する年にしてまいりたいです。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。